

事業所名 : 日本罐詰株式会社 十勝工場 (河西郡芽室町)
業界・業種 : 製造業 (冷凍野菜・レトルト食品製造)
従業員 : 約140名

日本罐詰における労働災害発生防止に向けた取組み

当事業所は、季節労働者が多いこと、製造品目によって製造機械の出し入れ等のライン変更が必要なこと、高齢の従業員が多いことから、これらリスクを踏まえた安全対策に取り組んでいますので、ご紹介いたします。

①安全衛生パトロールの実施

当事業所では月1回の安全衛生パトロールを重点管理項目を決め、安全管理者、課長、各課から選出された1名、安全事務局の4名にて「外回り」「パウチ課」「芽室課」「凍菜課」「品質管理課・工作室・倉庫」「原料課」を月別にパトロールします。

また、製造品目毎に設備が入れ替わりますので、「ブロッコリー・グリーンピース」「いんげん・枝豆」「スイートコーン」「かぼちゃ」の生産前にも別途パトロールを実施して、設置した設備が安全であるか確認しています。



② 疑似体験学習の実施

当事業所では、各種作業において間違っ
た手順を踏んでしまったことにより発生し
うる危険を実際に体験してもらうことで、
不安全行動の防止に役立てています。

当事業所では余った鋼材や部品などを使っ
て疑似体験キットを自作しています。画像は
それぞれ「配線ミス
による短絡現象および
トラッキング現象」
「残圧の強さ体験」
「挟まれ・巻き込まれ」
のキットになります。



③ 事故の歴史館研修

当事業所では、(株)明治より講師を招いて、
グループ企業内で発生した過去の重大災害の
再発防止と風化防止を目的として「事故の歴
史館研修」を行っています。

通常は本州にある研修施設にて実施され
るものですが、研修施設での受講が出来な
い従業員に対して、現地で出張の形あるい
はリモートにて開催されています。

従来は季節労働者は対象ではありません
でしたが、
当社から依頼
して繁忙期前
に実施してい
ただきました。



事務局からのコメント

季節労働者、高齢の従業員が多いなど労働者の特性に応じた取組を工夫されています。間違っ
た手順を踏んでしまったことにより発生しうる危険を実際に体験させることは労働者の作業手順
に対する理解を深める素晴らしい取組です。過去の事故事例による研修や、安全衛生パトロール
で設備の点検など実施されており、労働環境整備にも配慮されています。